

浦幌新聞第39号

～平成19年度の中学生からの提案を受け道教育大訓路校の学生と地域おこし協力隊の立野里奈さん、平川貴史さんが共同で制作しています～

真剣に話し合う高校生と協力隊



4月1日(日)中央公民館で浦幌部主催の「we come party 浦幌部」が行われました。この会は浦幌部に入部してもらえるよう、新高校1年生に向けて浦幌部の高校生が企画した歓迎会です。当日は2・3年生のみの参加となりましたが、地域の大人や地域おこし協力隊とワークショップやレクリエーションを通して交流を深めました。

ワークショップでは、浦幌部や町の高校生について意見を交わしました。部員同士の仲の良さ、地域とのつながりは強いものになつていて、町外の活動について知

らない、同世代に浦幌部の活動を知つてもらうことができていないという反省点も挙がっていました。そして「様々な人に浦幌町へ関心を持ち続けてもらいたい」、「部の活動を広報する」と同時に、自分たちが様々なことに挑戦していくことで、多くの人に注目してもらえるようにしていきたい」と語っていました。

進路、夢へサポート強化

浦幌部へ来てみませんか？

参加していた大人達からは、「浦幌部のことや町のことをたくさん考えるのと同じくらい、自分達の将来についても考えていくってほしい」との声も出ていました。

今回のワークショップを経て、私自身これから浦幌部をサポートしていく上で、高校生が自分自身に目を向

15人、2年生が5人在籍しています。月に数回、放課後にうらほろスタイル事務所に集まりながら、地域行事への参加以外にも

高校卒業後の進路について考え、そこに向けて必要な力を身につける活動を行っ

ています。昨年度は大学生や地域の大人、企業の方に話を聞き、進学や就職についてイメージを具体的にしていく活動等を行いました。

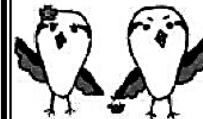
今年、私達協力隊は浦幌部のサポート体制を見直し、1年生から卒業後の進路や

け、自分の可能性を十分に發揮できるようサポート体制を充実させていくべきだと思いました。また、高校生を支えるために自分も多くことを学び続けていこうと思いました。

浦幌部

今年も活動開始

浦幌新聞



2018年(平成30年)
5月25日(金曜日)

発行元
特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート



平川貴史
(浦幌町地域おこし協力隊
bu@gmail.com)

生、学校以外でも進路やこれまでの将来について考え方で、3年生も一度気軽に遊んでみたい。3年生も一度気軽に遊びに来てください。

6年目の子どもの想い実現ワークショップ

真剣に向き合った50回、今後も参加募集



各班で出たアイデアを発表



講演いただいた門馬会長

職業問わず、地域の大人や
大学生が参加

平成23年に
準備委員会が
結成され、翌
年の2月に第
1回がスター
トした子ども
の想い実現
ワークショップ
(以下「WS」)
は今年で6年

月に1回、中央公民館に
地域の大人が集まるこのW
Sは、毎年秋に浦幌中学校
で行われる活性化案発表会
や、町内の小学生から提案
される「太陽への手紙」など、
子ども達の声に大人が真剣

に向き合い、実現するには
どうしたら良いかアイディ
アを出し合う場です。
今回のWSでは、記念講
話として、うらほろスタイル
推進地域協議会会長を務
める門馬孝敬氏より「未来
へつなぐ、うらほろスタイル」
という題目で講演をし
ていただきました。

また今回は特別テーマ
「このWSがより良いもの
になるにはどうしたら良い
か」について2班に分かれ
て話し合いました。「このW

Sをもっと良いものにした
い」「子ども達の声に向き合
うためにも、参加者がもつ
て増えてほしい」などの想
いが多く、参加者を増やす
方法や、周知の仕方、新たな
開催場所など、様々な意見
が出されました。

この記事を通して興味を
持つてくださった方がいま
したら、開催日時や場所に
ついてはフェイスブック
ページ「子どもの想い実現
ワークショップ」で発信し
ていますので、ご確認いた
だければと思います。

(浦幌町地域おこし協力隊
立野里奈)

いつも浦幌新聞を読
んでいただきありがとうございます。今年度
より地域おこし協力隊
に就任し、浦幌新聞編
集担当となりました平
川貴史です。昨年度ま
でこの浦幌新聞を編集
していた立野と協力し
て浦幌新聞を今まで以
上に読み応えのあるも
のにしていきたいと
思っています。

これまでと同様、町
内の小中学校の様子や
地域行事についてお伝
えしていくのはもちろ
ん、今年度からは読者
の皆様が様々なイベン
トに参加していただく
きっかけになるような
新聞にしていただけ
思います。

今後とも浦幌新聞を
よろしくお願いします。
(地域おこし協力隊 平
川貴史)

ごあいさつ

地域おこし協力隊 活動状況報告

みなさん、こんちは！地域おこし協力隊の三村です。5月に入つてからも寒い日が続なつていいくのを見て、春らしくなつてきたなと思うこの頃です。個人的には今の時期が一番好きです。浦幌に移住して来たのもちょうど2年前のこの時期でした。本州と比べると、北海道には明るい縁、深い緑、濃い緑と木々にいろんな縁があり、枝と枝の空間に射す光が綺麗だなと思つたことを覚えています。

さて、2年間利活用してきた旧常室小学校ですが、今年度も利活用できることが決まりホッとしています。今年度からは正式に『TOKOMURO Lab(とこむろらぶ)』と称し、「どこでもできる表現を、ここにしかないスタイルで」というコンセプトに沿つた事業展開を考えています。浦幌町にすでに存在する資源(ヒト・モノ・コト)を最大限活かせるような表現の場所へ。その表現が浦幌らしさになると人が集まり、交流するという自然と人が集まる、面白いそながる」と考えていました。目指すは新しい文化を生み、浦幌に面白そうな拠点ができる。そして、浦幌を好きになるファンが増え、まちが豊かになるイメージを持つていま

6月24日のイベント詳細

fukuya to cafe to
毎日の家仕事を楽しむためのアイテムを作りました③
リネンのエプロン、洋服、小物たち
小さな気まぐれカフェ OPEN
気まぐれカフェセット
(とかち野酵母パン to クッキー to 飲み物)
数に限りがございます
本別
元常室小学校
田舎の氣まぐれ服屋(Ameba)
Instagram: inakanofukuya
HP: 田舎の氣まぐれ服屋(Ameba)

2018. 6. 24 (sun)
OPEN 10:00 CLOSE 16:00

場所 元常室小学校
住所 十勝郡浦幌町字常室51番

昨年の食のイベントの様子



地域おこし協力隊 三村直輝（みむらなおき）常室ラボ事業担当

1989年広島生まれ。実は4月から若者のしごと創造事業担当から常室ラボ事業担当へ。しかし、5月末で退任させていただくこととなりました。これからは、浦幌町で新しい会社を立ち上げましたので、そちらで浦幌、常室に関わっていきます。2年間大変お世話になりました。そして、これからも引き続きよろしくお願ひいたします。



- 地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebook ページ

☆北海道浦幌町地域おこし協力隊 ⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi>

取り組む予定です。1つ目は2年前から取り組む「コ・ワーキングスペース(共同の作業場)事業。こちらは今年から有料とさせていただきますが、常にラボにはスタッフが常駐していますので、気軽に立ち寄りいただければと思います。2つ目はイベント事業。昨年は常室探検会や椅子作りワークショップ、食のイベントなど様々なイベントを行いました。今年も新たなイベントを考えています。また、6月24日(日)にラボで、随時ご案内させていただきます。3つ目は飲食事業。週末限定でカフェやランチをご用意する予定です。浦幌産そして十勝産の食材をできるだけ多く利用した食事をご提供できればと考えています。来ていただいた方に「非日常感」や

「刺激」を感じてもらえる空間づくりに取り組んでいます。
今後のスケジュールとしては、6月14日(木)にプレオープン予定で、飲食事業も始めていきます。6月28日(土)にグランドオープン予定で、飲食事業も始めていきます。10月末までのオープンを予定しています。また、6月24日(日)にラボにて1日限りで、地域の方が服飾や雑貨の販売、カフェイベントを開催されます。素敵なお洋服や雑貨、美味しい「コーヒー」とお菓子のご用意がありますので、ご興味ある方はぜひお越しくださいね。